



<p>安達 愛</p>	<p>日本近現代文学</p>	<p>①経歴・職歴 さいたま文学館、文化資源課、歴史と民俗の博物館を経て、現在は埼玉県平和資料館に勤務。</p>
<p>あだち あい</p>	<p>児童文学</p>	<p>②過去の実績 H30 企画展「詩人・吉野弘 やさしいまなざし」(さいたま文学館) R5 収蔵品展「昭和の暮らし-戦前・戦中・戦後-」(埼玉県平和資料館) R5 「寄贈資料展-未来に伝える戦時の記憶-」(埼玉県平和資料館)</p> <p>③研究業績等 「新型コロナウイルス禍における体験学習の取り組み:「火おこし実演」を中心に」(『紀要』16号、歴史と民俗の博物館、令和3年3月) 「『クレヨンしんちゃん』の舞台はなぜ「かすかべ」なのか?:首都圏郊外の形成と家族像の変化」(『紀要』17号、歴史と民俗の博物館、令和4年3月)</p> <p>④メッセージ 昨年度より埼玉県平和資料館で展示や資料管理などを担当しています。平和について考えるきっかけ作りができるよう努めてまいります。</p>
<p>写真</p> 		

<p>大明 敦 だいまよう あつし</p>	<p>日本近代文学</p>	<p>① 経歴・職歴 県立博物館、民俗文化センター、さいたま文学館、さきたま資料館、歴史と民俗の博物館を経て現職</p>
	<p>詩歌、宮沢賢治の伝記研究</p>	<p>② 過去の業務実績 さいたま文学館企画展運営(平成29年度以前は省略) H30「実篤と元麿」 H30「田山花袋と明治の文学」 R01「『文芸埼玉』創刊号ゆかりの人々」 R02「俳画コレクション 岡本癖三酔作品展」 R03「文学館の宝箱2021」 R04「埼玉妖怪見聞録」 R05「大木実 暮らしの詩情」 R06「明治の文芸雑誌」</p> <p>③ 研究業績等(平成29年度以前は省略) H30「与謝野晶子歌稿『山泉抄』について」『全国文学館協議会 紀要』11号 R01「文学館と漫画・アニメとのコラボレーションについて」『全国文学館協議会 紀要』12号 R02「雑誌『文学の室』について」『全国文学館協議会 紀要』13号 R03「正岡子規と埼玉」『さいたま文学館 紀要』創刊号 R04「岡本癖三酔の自画賛句帖について」『さいたま文学館 紀要』2号 R04「柳田國男と埼玉の妖怪伝説」『さいたま文学館 紀要』2号 R05「宮沢賢治の地質旅行中の詠歌について」『さいたま文学館 紀要』3号 R06「賢治の短歌における感情の表現について」『さいたま文学館 紀要』4号</p> <p>④ メッセージ 文学に親しみを感じてもらえるような展示をめざしています。</p>